

2020年7月10日

報道関係者各位

株式会社電算システム
(東証第一部/名証第一部:3630)**情報セキュリティ事業会社 株式会社ピーエスアイの株式取得について**

～世界最先端技術のセキュリティ製品取扱とセキュリティ事業への本格参入～

株式会社電算システム（岐阜県岐阜市、代表取締役社長執行役員 COO 田中靖哲、以下「電算システム」）は、本日開催の取締役会において、ACAシナジー3号投資事業有限責任組合から、株式会社ピーエスアイ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山崎充宏、以下「ピーエスアイ」）の持株会社であるACAS2株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西野貴司、以下「ACAS2」）の発行済株式の全てを取得し、ACAS2を完全子会社化することを決議致しました。これにより、ピーエスアイは電算システムの孫会社となります。

電算システムは、1967年（昭和42年）に岐阜県で創業し、独立系総合型情報処理サービス企業として、情報サービス事業と収納代行サービス事業を展開しております。さらに現在はデータセンターを中心としたクラウドサービス事業を積極的に取り組んでいますが、これら3事業全てにおいて、顧客の情報セキュリティを堅牢に守るニーズがあり、これまで顧客に対してセキュリティに関するソリューションを提供してきております。近年、インターネット、モバイル、IoTの普及に伴い、顧客システムへの侵害や脅威が深刻化、急増していることに伴い、電算システムはこれまで培った「情報セキュリティ技術」をより一層高度に磨き、顧客のセキュリティのニーズの高まりにこたえ、「情報セキュリティ事業」を強化、発展していく方針です。その第一歩として、米国等世界最先端の情報セキュリティ関連製品の輸入販売と技術サポートに実績のあるピーエスアイを完全孫会社化致します。

電算システムの経営資源とピーエスアイを融合してシナジー効果を発現することで、電算システムのこれまで培った「情報セキュリティ分野」の技術力をより一層強化し、取扱製品の高性能化を図り、顧客に対するソリューションの拡充を行い、セキュリティ事業をより拡大、発展させてまいります。

今般、東京本社に「セキュリティ事業部」を設置し、ピーエスアイの技術と実績を活かし、**「世界最先端セキュリティ技術に強い信頼の電算システム」**として、電算システムグループのシナジーを最大限に発揮してまいります（図1）。

<ピーエスアイについて>

ピーエスアイは、1994年創業以来、米国等世界の最先端の情報セキュリティ関連製品の輸入販売と技術サポートを提供しています。特に近年急増する悪質なウイルスやハッカーによるシステムへの侵害を防ぐために、最先端の次世代ファイアウォールやUTM（統合脅威管理）製品、さらにはAIを駆使したサイバーセキュリティシステム等を日本の顧客に最適な形で販売しています。

(1) ピーエスアイの概要

(1) 名 称	株式会社ピーエスアイ		
(2) 所 在 地	東京都新宿区5丁目5番3号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山崎充宏		
(4) 事 業 内 容	情報セキュリティ製品の輸入販売及び保守サービスの提供		
(5) 資 本 金	50百万円		
(6) 設 立 年 月 日	1994年1月10日		
(7) 大株主及び持株比率	ACAS2株式会社 100%		
(8) 当該会社の最近3年間の単体経営成績及び単体財政状態			
決 算 期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
単 体 純 資 産	481百万円	531百万円	633百万円
単 体 総 資 産	742百万円	816百万円	973百万円
単 体 売 上 高	1,430百万円	1,714百万円	1,913百万円
単 体 営 業 利 益	67百万円	86百万円	90百万円
単 体 経 常 利 益	72百万円	97百万円	151百万円
単 体 当 期 純 利 益	55百万円	64百万円	102百万円

(2) ピーエスアイが取扱うセキュリティ関連製品

ピーエスアイは世界的に有名な下記セキュリティベンダーの1次代理店の販売権を有する。特に、AIセキュリティ分野で著名な「Darktrace」は、今後有望である。

時価総額は2020年7月7日終値



次世代ファイアウォールUTM（統合脅威管理）の世界有数の米国のベンダー。

NASDAQ上場企業（時価総額約2.3兆円） ピーエスアイの2019年売上 約7.1億円



イスラエル本社のファイアウォールとして世界有数のベンダー。

NASDAQ上場企業（時価総額約1.8兆円） ピーエスアイの2019年売上 約2.3億円



「AIセキュリティ」分野で世界的に著名な英国ベンダー。ケンブリッジ大学が開発したAI技術を活用した未知の脅威にも対応可能。 ピーエスアイの2019年売上 約2.7億円



韓国で生まれたセキュリティスイッチの大手。

ソウル上場（時価総額約81億円） ピーエスアイの2019年売上 約2.2億円

< 参考資料 図 1 >

電算システム(DSK)におけるセキュリティ事業強化



■ 電算システムについて

当社は1967年（昭和42年）に岐阜県で創業し、独立系総合型情報処理サービス企業として、情報サービス事業と収納代行サービス事業を展開しております。

情報サービス事業はさらに、①ソフト開発とシステム環境の構築までを行うシステムインテグレーション、②データ処理や各種帳票の発行の運用等を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業とデータセンター事業を行う情報処理サービス及び③アプリケーションソフトやシステム機器・サプライ用品の販売を行う商品販売の3つのサービスで構成されております。

収納代行サービス事業は、1997年（平成9年）に民間企業初のコンビニ収納代行サービスを開始しており、総合決済サービスプロバイダとして決済サービスと国内外の送金サービスを提供しております。

現在はデータセンターを中心としたクラウドサービス事業を3つめの主要事業にすべく、積極的に取り組んでおります。

詳細については当社のホームページ (<https://www.densan-s.co.jp/>) をご覧下さい。

本リリースに関する問い合わせ先

< 報道関係者様からのお問合せ先 >

株式会社電算システム
総務部 後藤
電話： 058-279-3456
E-mail: kikaku@po.densan-s.co.jp

< 製品・サービスに関するお問合せ先 >

株式会社電算システム
ICTイノベーション事業本部 西澤
電話：03-3206-1771
E-mail: yasuo_nishizawa@densan-s.co.jp